

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 金沢市立小立野小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

住所 〒920-0941

E-mail : kodatsuno-e@kanazawa.ed.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 255 名 女子 242 名 合計 497 名
 児童・生徒の年齢 7 歳～ 12 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ ）

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

以下の内容を、第1学年及び第2学年では「生活科」、また第3学年から第6学年では「総合的な学習の時間」の学習を中心として実践を進めている。

- 第1学年 昔からの遊び（地域）
昔から伝わる遊びの中で「けん玉」、「こま」、「お手玉」を取り上げ、ボランティアの方の指導のもと、遊び方の説明の時間を持った。子どもたちは、初めて手にして遊ぶ子もいたが、「おしえてもらったらできるようになった」「もっとやってみたいとおもった」などの感想が多く、伝承遊びの楽しさを知ることができた。
- 2年生 小立野町たんけん、大はっけん(地域)
小立野校区のお気に入りの場所を子どもたちから聞き取り、その中から「天徳院」、「福光屋」、「如来寺」、「くらしの博物館」、「木村屋ベーカリー」などの8カ所を選び、グループに分かれて見学した。地域の自然や歴史、住んでいる人の思いに触れ、自分たちの生活が小立野の地域と深くかかわっている事に気付いた。自分たちの育ったこの土地に愛着を持つとともに、これからも地域と楽しくかかわっていききたいという思いを持った。
- 第3学年 小立野のひみつを探ろう（地域・伝統文化）
社会科の学習の校区探検で生まれた興味や疑問をもとにして、「兼六園」「如来寺」「宝円寺」「天徳院」などの文化財や「祭り」「大清水」「和菓子」「能楽」「バス・交通」を見学し、地域の人に調査しながら探究していった。地域の自然や歴史、住んでいる人の良さを実感し、小立野の良さとしていつまでも残しておきたいという思いを全校に発信した。
- 第4学年 伝統工芸を学ぶ（伝統文化）
金沢仏壇の職人さんから箔押しを教えていただき、一緒に箔押し体験をした。簡単そうに箔押しする職人さんとはちがい、箔押しをしてみるとなかなか難しく、改めて職人さんの技を感じることができた。体験の後には質疑応答もすることができ金箔職人さん達の思いにも触れた。箔押し体験を機に、金沢市や石川県の他の地域には金沢仏壇のほかにもたくさん伝統工芸があることを知り、自分たちの住む金沢・いしかわに伝統が息づいていることを感じる事ができた。

第5学年 金沢の里山（環境）

環境保全の観点から、里山の果たす役割や、よりよい里山のあり方などについて考えた。自分の目で里山の植物や生き物にふれたり、森林を保全する人達の活動を見学したりする中で、里山が昔から人々の暮らしと深く関わってきたことや、里山が環境を保全する上で重要な役割を果たしていることに気づいていった。また、里山の保全に関わっていこうとする気持ちも高まっていった。

第6学年 金沢の町に学ぶ（伝統文化）

金沢を紹介するDVDを見て、金沢の魅力をつかんだ後、『美技』『美食』『美景』『美人』に分け、それぞれが調べ活動を行った。その中で特に伝えたいものをパンフレットにまとめた。お互いのパンフレットを紹介し合う活動を通して、さらに金沢の魅力を知ることができ、魅力ある町金沢についての意識が深まった。

（2）活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）